



HAKODATE

Green Mapmaking in Hokkaido Japan's Slow City



グリーンマップ・システムは、世界各地で制作される自然・文化環境のマップを通して、地域の持続可能性や市民活動を応援する非営利団体です。



はじめに

Hakodate City · Hokkaido · Japan
 Hakodate Slow Map
 www.slowmap.org



函館スローマップ詳細 (2003年)



2000年、筆者は地域コミュニティの活性化を考えるオンライン・グループを立ち上げ、情報デザインの発想や手法を使った具体的な活動の可能性について検討していた。この議論の中で、市民一人一人の地域認識を新たにしていく基盤としてマップは有効な手段であり、そこから派生するプロジェクトも様々に考えられることから、別途グリーンマップ制作の為のプロジェクトチームを組んで制作にあたることになった。

私達は、マップづくりは地域の活性に関心のある人たちがそれぞれの知識を活用して一緒に作業する場として適切であると考えた。函館は日本の近代化の過程で比較的早い時期から外国文化と接触し、往時をしのばせる西洋式建造物や町並みが残っている。しかし、住民が市の中心部から流出して、人のつながりが希薄になってしまった。生態系や地域計画、社会福祉活動に従事する市民組織はあるが、相互のつながりはなかった。

そのような状況にあったため、グリーンマップ制作のためのネットワークづくりには時間がかかってしまった。2002年、北海道庁が助成を承認したのを機に、マップづくりの体制を整えた。マップの利用者を

市民、観光客、地域づくりに定め、マップのネーミングやデザインには市民の参加を優先させていくことを決めた。

マップデータ

- ・ 使用言語: 日本語
- ・ 版数: 1
- ・ 地図形態: 印刷物、ウェブマップ
- ・ 収録サイト数: 200
- ・ グローバルアイコン使用数: 53



函館の4つのローカルアイコン

マップ制作

Hakodate City · Hokkaido · Japan
Hakodate Slow Map
www.slowmap.org



5,000 maps printed

2002年7月に開かれたグリーンマップ・ジャパンの会合に出席、それに刺激を受けて、10月初旬、市民向けにグリーンマップの紹介をする展示と情報収集のための第1回目ワークショップを開催した。2003年に入ってすぐに掲載情報の整理・編集と印刷版マップのデザイン作業に入った。印刷版のマップを5000部刷り、函館観光案内所、博物館・美術館、コーヒーショップ、地元の放送局に置いた。3月にはウェブ版函館スローマップV.1.0を<www.slowmap.org>にて公開した。

「スロー」という言葉を使ったのは市民ならびに観光客の注意を引こうと思ったからである。世界的な「スローフード」運動は、人々に、もっとゆっくり暮らそうというメッセージを投げかけ、多くの共感を呼んでいる。函館の環境は、まさにスローライフにうってつけである。マップ制作のプロセスは、多くの人をいろんな段階に巻き込んでいこうと考えていたので、スローそのものだった。

マップを子供の絵本のような暖かい感じにしたかった。ロゴは手描きにして、明るい色を使った。歴史地区を新たに描き、函館山などの生物多様性に富



(左から)

函館スローマップ印刷版(2003年)
函館スローマップ、ホームページ(2003年)
他のグリーンマップから得たインスピレーションを描いてみる「スロー」なワークショップの様様。



み、渡り鳥の保護地区になっている自然も取り込んだ。歴史地区の古い建物を再生した建物群も入れた。古い建物の利用活性については函館が他の都市に先んじて1960年代に着手していたものである。

印刷版とウェブ版のマップの発表を兼ねて、再び市民参加のワークショップを開催し、でき上がったマップの評価や今後の活用法について議論し、次期バージョンへ向けて課題を抽出した。バージョン2.0(日本語版)は2004年に発表を予定している。

テクニカルデータ

ソフトウェア:

Adobe Illustrator
Adobe Photoshop
Macromedia Flash MX
Macromedia Dreamweaver
Microsoft Excel

ハードウェア:

Macintosh and PC workstations
Digital camera
Instant camera

紙質:

Recycled paper with soy-based ink

地図形態とサイズ:

Folding
・ A2 (59.4 X 42 cm/23.4 X 16.5 in),
folded into CD jacket size
・ Website
Naview, Flash-based map information system for PC users

チームワーク

Hakodate City · Hokkaido · Japan
Hakodate Slow Map
www.slowmap.org

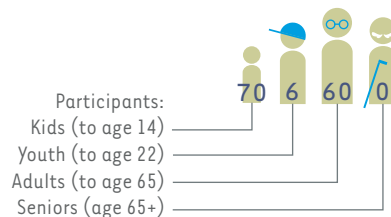
ワークショップをはじめとする参加者募集には、地元新聞への記事掲載、チラシ配布、またグループのメーリング・リストを活用した。

プロジェクトの中心メンバーは、地元で情報デザイン関連のsmallビジネス(ウェブデザインやDTP、印刷関連のコンサルティングなど)を行っている個人とグループである。最初のうちは主に筆者が面倒を見たが次第に参加型デザインの手法を採り入れ、段階的にワークショップを行う過程で多様な市民が関わるようになった。年齢層は小学生からシニア(60歳代)まで、学生・大学教員・市役所職員・NPO関係者など、その人数はのべ150人を超えた。環境問題の専門家はいなかったが、市の環境担当者や環境分野で活動している市民から必要な情報を入手した。マップづくりの事前調査を通して、参加した人たちには函館を新たな視点から見る良い機会となった。

地元の小学校でピクトグラムを学習していた3年生70人がローカル・アイコンのデザイン作成に参加してくれた。依頼したテーマは「温泉・銭湯」だった。子どもたちのスケッチ集をもとに中心メンバーがアイコ



Partners, Advisors and Board members: 6



ンをデザインした。情報デザイン専攻の大学生が、集めたデータの整理やマップの下絵の校正を手伝ってくれた。

2003年8月に催した >>
散策ツアーを楽しむ方々



<<フィールドワークではお友達もでき、市内探検もできた



新しいアイコンのアイデアをスケッチする小学生達



大人と子供が一緒になって集めたサイトを眺めるワークショップの様

制作費

Hakodate City · Hokkaido · Japan
Hakodate Slow Map
www.slowmap.org

2002年度は、北海道庁のSOHO支援の補助事業に採択され、事業費のうちの半分で賄うことができた。残り半分は、北海道の民間財団と地元函館のマルチメディア関連の協議会から助成金を得た。予算は印刷物とウェブの両方を含んでいたが、お金がかかったのは印刷物の方である。グラフィック・デザイナーとウェブサイト・システム・エンジニアには謝金を払ったが、コア・メンバー、小学校児童、大学生ボランティアは無償であった。

今後、マップをさらにバージョンアップさせていくためには、継続的な事業計画と資金計画の確立が課題であり、行政・民間の支援をどうとり付けるか模索中である。ウェブの更新費用はなんとか捻出できそうだが、冊子として発行予定の印刷物用の資金調達は難航しそうだ。



Approximately **14,400** website visitors per year



(上から)
函館スローマップのホームページ画面。ポップアップ機能で双方向性となっている。



函館スローマップに使用されたアイコン。新しいローカルアイコンを考える子供達。



これらのアイコンは全グリーンマップに共通に使われている

エコノミックデータ

制作主体: Non-profit design network

資金源:
Grants

主な支援団体:
Hakodate Multimedia Promotion Council
Hokkaido Regional Promotion Organization
Hokkaido Prefectural Government

専任スタッフ: 2

頒価: Free

派生プロジェクト: Tours, magazine column,
digital photo collage, workshops

評価

Hakodate City · Hokkaido · Japan
Hakodate Slow Map

www.slowmap.org

現在公開中のマップはあくまでも試作版であり、掲載範囲も年間500万人の観光客が訪れる歴史地区のみである。ウェブサイトにはNviewという簡易GISともいべき双方向マップづくりシステムを使った。

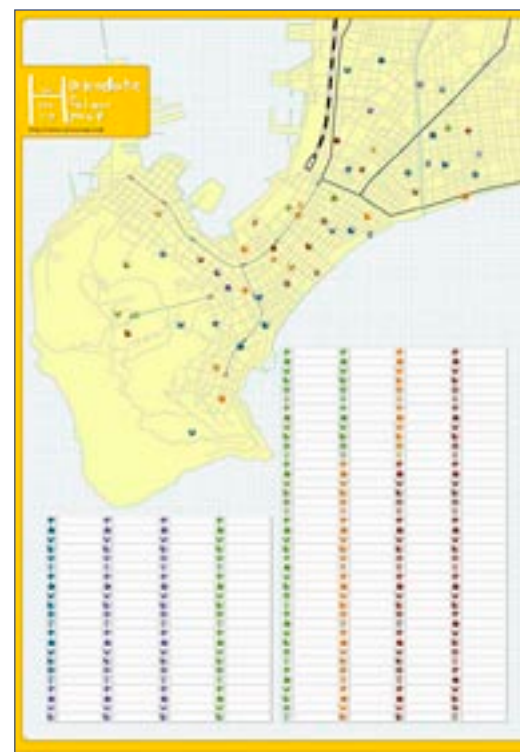
また、当初の計画では、ユーザー投稿をリアルタイムにマップに反映できるシステムをウェブサイト上に実現する予定だったが、予算や技術上の制約で頓挫してしまった。掲載情報が十分ではなく、データ構成もうまいくかなかったために使い易さは期待ほどではなかった。

ただし、2004年春までに、次世代マップシステムを実装できるメドが立った。今後は市民や旅行者がパソコンやデジタルカメラ付きの携帯電話から情報や画像の入力が可能となり、文字通り「進化するマップ」が実現できると考えている。中心メンバーと地元の文化や環境に詳しいボランティアが「おすすめページ」に投稿のあったデータを編集することになる。コンピュータを使わない人たち向けにはフィールドワークの機会をつくり、できるだけ多くの人たちに新しい発見をしてもらい、それを他の人に伝え、データを蓄積したいと考えている。

(左から)
印刷版マップを紹介する
北海道新聞(03年3月)、
ワークショップを紹介する
朝日新聞(02年10月)



このマップづくりの活動については地元新聞3紙、フリーペーパー2紙、業界紙1紙、ラジオ局2局、テレビ局2局で扱われ、若干のコンピュータ誌でも取り上げられた。



(上から)スローマップに載せるべき情報を選択し、下絵に描いてみる。サイト調査用地図の例。

むすび

Hakodate City · Hokkaido · Japan
Hakodate Slow Map
www.slowmap.org

函館のマップはGMSに準拠しながらも、「スロー」という独自のコンセプトを打ち出し、歴史のある街に潜在する、隠れた魅力や価値を再発見することを活動の中心テーマに据えた。実際、ワークショップの参加者や地図のユーザーからは、「自分たちの知らない函館を見つける手がかりになった」など、概ね好意的な評価をいただいた。

マップづくりの反応は概して良好で期待以上だった。ワークショップ参加者たちは「函館に住んでも、知らないことがいっぱいあった」と喜び、利用者は「函館をこれまでとは違った角度から見られた」と言っていた。これまでに寄せられた感想には、次のようなものがある。

“スローマップは、産まれたての赤ちゃんみたいで。眺めていると、地図の中からのいろんな人の声が聴こえてきそう。思わず微笑んでしまいます。”

—青田美樹さん、主婦、函館在住

“私は函館に住んで一年が経ちました。それまでは観光で訪れていて、どこかゆったりと流れる函館の空気感を好ましく思っていたのですが、いざ住んでみると、

“スローマップには、出来上がったものを利用するだけではなく、自分で書き込んだり、オリジナルを作ってみるといった楽しみ方もありそうだ。「それぞれのスローライフ」を始めるための手軽な第一歩は、近所の白地図を手手に、散歩に出ることだと気づいた。”

—桝山寛さん、メディア・プロデューサー、東京在住

その良さを忘れがちになっていました。改めて、スローマップを目にして、函館の街を穏やかな気持ちで歩きたくなりました。”

—中井美穂子さん、NHK函館放送局キャスター

今後は、歴史的な街並み地区の再生をテーマとしたワークショップを行い、その成果を冊子として出版するなど、積極的に地域の活性化や再生へ向けた動きと密接に連携しながら活動を進めていこうと考えている。



函館山の麓にある外人墓地は、晴れた日には絶好の夕日鑑賞スポット。



函館山からの素晴らしい函館市全景。日本全国からこの夜景を見に観光客が訪れる。



函館中心部をつなぐ環境に優しい旅の友、市電。



このサイトでは伝統的方法で塩漬のイカが加工され、樽詰めされる。



<< かつてデパートと市役所だった築100年のビルは、リフォームされ、非営利団体の事務所や地域グループに解放される予定。



函館スローマップ(2003年)

クレジット

函館ストーリー監修:

渡辺保史

函館スローマップ

〒042-0931

北海道函館市榎本町5-8

tel: 0138-57-4640

All map, web, promo images and photos © node 0138 project 2003v



<< 年数回開かれるフリーマーケットで、オシャレなものを再利用することができる。背景は古い倉庫。

マップの申し込みは?

email: info@slowmap.org
or visit the online store at
www.greenatlas.org

www.greenmap.org, グリーンマップ・システムのホームページ: 世界中の全てのグリーンマップ・プロジェクト、グリーンマップ・アイコンポスター、ユースマップ制作ツールなどがいくつかの言語でご覧になれば、リンクしており、持続可能なこの活動への参加のお誘いも掲載しております。



© Green Map® System, Inc. 2004
PO Box 249, New York, NY 10002 USA
info@greenmap.org